

第4期港南ひまわりプラン(港南区地域福祉保健計画)(素案)に対する 区民意見募集の実施結果について

1 実施概要

(1) 募集期間

令和2年10月5日(月)～令和2年11月5日(木)

(2) 周知方法

ア 素案冊子・概要パンフレットの配付

区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザ、区民活動支援センター等

イ 関係団体等への説明

連合町内会長連絡協議会、地区社会福祉協議会分科会、民生委員・児童委員協議会、保健活動推進委員会、障害者団体連絡会、シルバークラブ連合会、小・中学校長会等

ウ 周知ブースの設置

区役所内各フロア

エ 広報媒体

区ホームページ、広報よこはま港南区版10月号掲載

(3) 頂いたご意見数

350件

(内訳)

・99件(意見提出方法:区役所持参、郵送、電子メール、団体等説明時の聴き取り等)

・251件(「こうなん子どもゆめワールド2020」で提出された「こんなまちになったらいいカード」)

2 頂いたご意見(上記「99件」の内容)

ご意見は内容により分類しています。また、個人の識別性が高い情報や難解な文章などについては原文を要約して掲載している場合もあります。

(1)アクションⅠ『知る』について		
	ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
1	子が就学しているが、乳幼児のダウン症児とその親を支援している。後継者がいないので困っている。つながりの場として、話し合いの場を設定しても、なかなか集まらないが、親子のリトミックだと口コミで集まっている。	障がい理解を進め、支援者の輪が広がるよう、家族会などの活動事例を掲載します。 (取組「①障がいや認知症など、それぞれの違いや多様性を知ろう」に掲載)
2	<理解啓発>の欄について 「多文化共生」に関連して、地域に居住する外国人の存在が明確になるように記述を丁寧にして頂きたい。そうすることにより、港南区が外国人に対する包摂性を心がけているとの姿勢を明確にすることができるとともに、『②必要な人に必要な情報を届けよう』の内容がより具体的になると考えます。	頂いたご意見について、具体的なイメージが伝わるよう、事例を掲載します。 (取組「②必要な人に必要な情報を届けよう」に掲載)

3	精神疾患などあることから生じるトラブルなど、見えない部分(障害)への理解が難しい。	様々な障がいの特性や困りごとについて、福祉教育、当事者による出前講座、啓発ポスター等で理解啓発を進めていきます。	
4	個々の障害についてはまだまだわからないので、学びたい。		
5	朝起きられない症状があるなど、親の精神障害への理解が進んでいない。「だらしない親」ではなくて、できない。障害のことを知ってもらえることができればいい。		
6	啓発ポスターを上手に活用してもらいたい。(地域防災)拠点から声がかかれば話に行く。日々の生活でも助けてもらいたい。地区社会福祉協議会でも話させてもらいたい。(当事者団体より)		
7	普段から地域にかかわっている人々は、つながれるかもしれませんが、あまり関わっていない人が、すでにあるコミュニティに加わることは難しく、「誰もがつながれる」が実現できたら素晴らしいと思います。また、自治会活動に「参加したくない」「興味がない」人々が置き去りにならないよう、情報が流れるしくみができるとうれしいと思います。		情報が届きにくい人にも必要な情報が伝わる仕組みづくりなど、様々な方法で情報が届くように工夫していきます。
8	子育て中の人の中で、事業に出られる人は良い。出られない人がつながれない。子育て情報は探さないと見つからないので、届きにくい人がいる。		子育て中の人にきちんと情報が行き渡るよう、こんにちは赤ちゃん訪問等で情報提供をし、赤ちゃん教室や子育て支援拠点等につないでいきます。
※その他以下の意見も頂きました。必要に応じて関係部署とも共有していきます。			
9	主人は自分の地域を意外と知らない。		
10	商業施設が充実していて住みやすい。		
11	小児科含め病院が沢山あるので安心。		
12	激戦区ではあるが、保育園の数が多い。		
13	治安がわりと良い。		
14	大岡川周辺のゴミのポイ捨てや不法投棄が多い。		
15	大岡川周辺の雑草刈りを、もっとスパンを短く定期的にしてほしい。		
16	国際交流の機会が少ない。		
(2)アクションII『つながる』について			
	ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方	
17	今までは『会うこと』が大事でそのためにどうするかという話だったが、新型コロナウイルスの感染拡大で『会うこと』に+αがついている。SNS など。これを機に始めた人も出ている。SNS が難しい人にどうやって伝えるか、つながるかを考えないといけない。	地域ケアプラザ等での ICT 環境の整備や民間企業との連携によるスマートフォンの使い方講座の実施など、地域や社会の実情に合わせた伝え方やつながり方の検討・支援を進めていきます。	
18	新型コロナウイルスの感染拡大で、活動のモチベーションが下がっていて、解散になりそうなグループもある。どうことができるのか、つながることをどうして行ったらいいのか。	地域、行政、関係機関で連携し、地域や社会の実情に合わせて活動を継続していく大切さを伝えていきます。	
19	地元ですっと生活していた人たちは、地域との関わりも何かしらあると思うが、最近は転入してくる人も多い。地域とのつながりがなく、見えにくい。	転入してきた方が地域とつながるきっかけになるよう、港南ひまわりプランなどを紹介していきます。	

20	重症心身障害児の家族会で、防災訓練に参加したが、地域もどう対応しているかわからないし、親も居づらかったと話していた。親はもっと知ってもらいたい、と思っているがうまくいかない。担当地区の民生委員さんに知ってもらおうのも、どうしたらいいかわからない人が多い。つながりができている人とできていない人の差が大きい。	地域防災拠点での出前講座などを通じ、障がいの特性などの理解啓発を進めます。また、障がいのある方が安心して地域で暮らし続けられるよう、当事者の方々や関係機関との連携に努めていきます。
21	民生委員と当事者や家族の連絡会が、つながる場になっていた。ひまわりプランの推進の中でそういう場を設定してもらえたらいい。(その先をどうしていくか？当事者や家族と、地域の間をコーディネートする役割がいる)なつつこもそういう場になっていたが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大でやれない。そこから先をどうするかは課題のままになっている。	
22	地域防災拠点の受付には時間がかかる。待つことが苦手な人もいる。障がいがある人の受付は分けてほしいと伝えている。訓練に参加しないと気が付かない。参加していても直接は言いにくいので団体で啓発できるとよい。中区は訓練の日に担当の人が自宅に行って声をかけてくれる。参加しやすいと思う。	
23	障害をもつ子供を気軽にイベントに参加させられない。	
24	共働き家庭が多く、平日開催のイベントに参加できない→地域の人たちとの交流の機会がない (※私が代表を務める子育て広場では、祝日開催にも力を入れています。祝日は、お父さんとお子さんが一緒に楽しめる場、としても、今後提案していきたいと思っています。)	子育て世代も参加しやすい日程や場所を検討するとともに、土日や祝日に開催するイベントの周知を進めます。
※その他以下の意見も頂きました。必要に応じて関係部署とも共有していきます。		
25	個人情報保護、個人生活の多様化、SNSの普及等、顔を合わせる機会が少なくなっている中で、有意義な時を共有できるプランと感じています。 今は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、見学等は厳しい状況ですが、収束すれば地域の方に見学等、足を運んで頂ければと思います。(福祉施設より)	
26	東京から引っ越してきたが、港南区は子育てがしやすい。友達が近くの町内会の子ども会に入っていて、いろいろな情報が入ることにつながれていると思う。	
27	10年前地域の希望でつながりの場として作られ、利用率はあがってきたが、今後は地域との関わりや「機能」を考えていきたい。地域団体ともつながりたいし、地域ボランティアの後押しもしたい。小中学生の育ちを支援していきたい。(福祉施設より)	
28	商店も、地域と一緒に地域づくりをする視点が入っているのはよいこと。	
29	この場(地域ケアプラザでのイベント)も安心してつながれる場ですね。	
30	昔、お店をやっていたので、私自身、地域とのつながりはあると思っている。最近顔を見ないな～という人には訪問にも行く。	
31	第二子以降は、どうしても赤ちゃん対象のイベントに参加し辛い。 (上のお子さんの予定が優先になったり、毎日忙しくなかなか時間が作れない)	
32	委嘱委員と単会とのつながりがもっとできるといい。	

(3)アクションⅢ『できることをやる』について		
	ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
33	第4期の策定については、新型コロナウイルス感染が流行前の昨年7月から始まっていると思うが、コロナ関係の事柄を盛り込んでいるのか気になる。素案を読むと、P30の⑤に感染症防止の文言は記載されているが、ほかに見当たらない。また、第4期の計画期間は令和3年～7年となっているが、コロナの再流行を苦慮した場合、どのように対策等を考え、盛り込んでいけるのか？	第4期港南ひまわりプランは、感染症流行時などであっても大切にしていきたい考え方などをまとめています。新型コロナウイルス感染症については、計画の記載事項以外にもその時々々の状況を踏まえ、対策を講じてまいります。
※その他以下の意見も頂きました。必要に応じて関係部署とも共有してまいります。		
34	地域に定年後の男性のフォローアップグループがある。地域ケアプラザが中心に支援している。70代が中心だが、前向きな方たち。Zoomで行った。	
35	・港南区のひまわりプランはたくさんの方の意見が詰まったもの。そして全ての人にやさしい心が届く内容になっている。 ・素案の中に「皆さんの思い」が書かれていてわかりやすい。 ・私は保健活動推進員として特にアクションⅢ「できることをやる」の中で健康づくりを通して地域の人とつながりをつくり、住んでよかったと思える町にしていきたい。	
36	コロナだけど、こんなことができた、という工夫。	
37	「新しい形」が出来るんじゃないか。地域のためにも新しいことに取り組むのも私たちの役目かな。	
38	権利擁護の講座を開催しようと考えている。できなくないんだと思う。	
39	自分たちの日ごろの活動が「出来る事をやる」につながっているね！	
40	町内会によってイベントの充実度に差がある。会員外でも、自宅から近い町内会のイベントに気軽に参加できるようにしてほしい。	
(4)アクションⅣ『支えあう』について		
	ご意見の内容	区役所・区社会福祉協議会としての考え方
41	虐待までいなくても、不登校とか、周りから見えづらい子どもたちもいる。生活している雰囲気とか、地域の見守りがあたらいいと思う。	家族や近所の人など、周りの人の変化に気づき、身近な支援機関や支援者につなげることの大切さを伝えていきます。
42	この家に引きこもりの人がいそうだとか、気づきがあるといい。	
43	不登校の子が、コロナ後増えていると感じる。	子どもたちを取り巻く状況の把握に努め、地域や支援機関と一緒にできることを考える機会をつくっていきます。
44	障害のある(濃淡あり、診断ない子も含む)不登校の子の居場所がない。	
45	小学生向けの学習支援の場はいくつかあるが、中学生になるとそういう場が減る。15歳未満は引きこもりの相談対象からも外れる。狭間の子に何かあるといい。	
46	保育園の役割やしていることを、もうちょっと発信してもらいたい。	保育園は、保育サービスの提供だけでなく、園庭解放や育児支援を通じて、地域とつながり、ともに子どもを育てる役割があることを周知してまいります。
47	地域の人に、(保育園は)ただ子どもを預かるだけの施設ではないことを知ってもらいたい。	

※その他以下の意見も頂きました。必要に応じて関係部署とも共有しています。		
48	子どもにとって普段の生活の中での、大人とのかかわりが大事で成長につながることを伝えたい。	
49	<災害時の体制づくり>に関連して港南区には大規模な団地が多数存在しています。災害時の体制づくりには、在宅避難など団地防災が大きなウエイトを占めると考えます。個々の団地居住者に対するだけでなく、大規模団地の管理組合を通じて、団地単位で取り組むべき【団地防災】の啓発に力を入れていただきたい。例えば、団地災害対策本部設置の仕方、団地内避難のノウハウ、雨水利用型水洗トイレなど災害時に備えた団地施設整備の案内などです。	
50	引き続き地域の方と情報を共有し、見守りをしていきたい。	
51	気づきの部分。支えてもらうのは手探りの状態。	
52	大きなお世話と親切とのバランスが難しい。福祉的な支援が必要な人であっても、個々の能力や意思を尊重して対応しないといけない。	
53	地域の課題として不登校の子の居場所のことが挙がった。地域に手を挙げてくれる人がいて地域の中で居場所づくりへ。学習支援という来ないのでまずは地区センターでスポーツをしよう、から始まった。そのことを通じて、今では学校に自分のペースで通えている子もいる。	
54	取組の中で、災害関係が盛り込まれていることに驚きを感じた。	
55	自分の家が幼稚園の近くにあり、園児と保護者にトイレを貸し出している。これって支えあうのかな。	
56	子供を連れてると、声をかけてくださるお年寄の方が多い。	
57	(コロナの前は)園庭開放している保育園が多く、よかった。	
58	赤ちゃん連れで参加出来るコンサートの開催がある。	
59	子連れでも行きやすい飲食店がある。	
60	親子遊びのイベント開催がある。	
61	子育てひろばがある。	
62	近所に公園があっても、午前中は保育園の園児が使っていて、午後になると大きなお兄ちゃんお姉ちゃん達が遊びにくるので、なかなか自分の子(未就園児)を思うように遊ばせられない(お兄ちゃんお姉ちゃんの遊び方は激しいので自分の子が邪魔になってしまったり危険を感じる)。	
63	手頃に子供を預けられる場所がほしい。	
64	土日祝日も子供(赤ちゃん)を預けられる場所がほしい。	
(5)計画全般・その他の意見		
	ご意見の内容	
	区役所・区社会福祉協議会としての考え方	
65	(1)1ページ港南ひまわりプランは、第1期から第3期まで5か年計画であったことをどこかに記載した方がよい。(第4期は表紙に記載されています) (2)28 ページ上のグラフの凡例が小さくてわかりづらいのもっと大きくした方がよい。	ご意見のとおり修正します。
66	P9 障がいのある人や認知症の人が増えています。 →増えているという表現に違和感があります。「増えているから」それぞれの違いや多様性を知る必要がある、ということではないと思います。 P14⑤誰もが安心して集まれる場 つながる場を広げよう。→ハンディのある方への配慮、バリアフリーの考えが盛り込まれてもよいのではないのでしょうか。 P19⑨子どもも働き世代もシニアも・・・ →障がいのある方や認知症の方も活躍できるイメージがここにも見られません。 様々な世代、誰もがという言葉は出てきていますが、配慮が必要な方に対する視点、具体性が第3期計画に比べても非常に薄く、温かみを感じられない印象を受けました。	取組「①障がいや認知症など、それぞれの違いや多様性を知ろう」の文章について、ご意見を踏まえ記載内容を修正します。(「増えている」という文言を削除) 取組「⑤誰もが安心して集まれる場 つながる場を広げよう」の文章について、ご意見を踏まえ記載内容を修正します。(「地域や参加者、社会の状況に合わせて」※下線部を追加) 取組「⑨子どもも働き世代もシニアもみんなが地域で活躍しよう」について、障がいのある方や認知症の方の活躍がイメージできるような事例を掲載します。 他のページにおいても、頂いた意見を真摯に受け止め、今後の作成を進めていきます。

67	取組例に「不登校ひきこもり連絡会」も入れてもらいたい。	頂いたご意見の趣旨を踏まえ、不登校やひきこもりに関連する事例を掲載します。 (取組「⑩子ども・青少年の育ちを地域で見守ろう」に掲載)
68	出来上がった冊子はどのように配布されるのですか。どこかに行けば配架されていますか。(どこで配架されるのですか)	港南区役所、港南区社会福祉協議会、港南区内地域ケアプラザにて配架予定です。
69	ひまわりプランのことを知らない人に周知することが大切だと思います。	「港南ひまわりプラン」の趣旨や内容が地域に浸透し、見守りや支えあいの活動が広がっていくよう、プラン自体の認知度向上にも取り組んでいきます。
70	区の計画を初めて知った。	
71	ひまわりプラン存在を知らなかった。引き続き見守りを進めていきたい。	
72	地域の方は、あまりこの計画のことを知らないが、お店のお客様や出会う方々に「みんなの計画なんだよ」と伝えていきたい。	
73	プランを知らない人、伝わらない人に届ける必要がある。誰でも手に取って、今何が出来ていて、これから「これ」が必要、が分かるようになるといい。知っている人が届けていくといいのでは。	
74	なるべく住民目線での言葉の言い回しや表現に近づけようという意識が全体を通して感じられる。イラスト(これから編集されてくる事は了承している)は、地域の方がイメージしやすいような事例(行政側が分かりやすいではなく、住民がだれでもイメージできるような)を挙げてほしい。	計画冊子は分かりやすく親しみやすいものとなるよう、イラストや写真、平易な表現を活用し、作成していきます。
75	言葉や表現の仕方等、住民目線で分かりやすいと思う。イラストも計画という固いイメージではなく、柔らかく親しみやすいものにしてもらいたい。 一方で、この計画をお母さん達がどう生かしていくのか。そのためのお手伝いをどうゆう手段(自分が周知するのか?)で広めていけばよいか、支援者側はそのような研修等はあるのか。(子育て支援者)	計画冊子は分かりやすく親しみやすいものとなるよう、イラストや写真、平易な表現を活用し作成していきます。 また、計画内容の周知・啓発方法についても意見を踏まえ、関係機関への研修会等の開催を検討していきます。
76	こうした計画も大切だし、地域の福祉施設(ケアプラザも含む)の事をどれだけ住民の人に知ってもらえるかも大切だと思う。そこと地域の関係性ができていけば、計画のこともより身近になっていくと思う。 推進していく上で、「計画」という言葉ではなくて、住民の人に分かりやすい言葉で推進して行って欲しい。(別に計画という単語を口にしないで、それは主催者側や行政側が趣旨を理解していればいいことだと思う。無理に計画ですからと言って住民に伝える必要はないかと思う)	計画内容や各種施設の機能・取組内容について、認知度を向上させるための施策に取り組んでいきます。また、地域の日々の活動の積み重ねが計画の推進につながっていることなどを分かりやすい言葉で伝えていきます。

77	P3「感染症の拡大」の書き方はあいまい。「コロナ」と明確に出した方がいい。	人との交流や集うことが難しくなる状況として様々な場面が想定されるため、できるだけ幅広く解釈できる表現を用いています。
78	地域福祉保健計画は継続性が大事。3期と4期はさほど変更は必要ない。ひまわりプランを意識して運営はしている。素案冊子の3Pの図で、それぞれの施設がそれぞれの立場でプラン目標にむけて連携協力をしているとあるが、コミュニティハウスが何を望まれているか(期待されているか)を知りたい。	プランの目標達成に向けては、各施設の強みを活かして、それぞれの地域ニーズに応じていくことが大切です。こうしたことを踏まえ、コミュニティハウスを含む各施設の強みと地域のニーズをつなげる機会などを検討していきます。
79	ひまわりプランのことは知っている。地域住民・活動団体・行政等が協力して、地域のために考えることは良いと思う。しかし、関係している活動団体、行政等が多く、どこが中心となり、窓口として機能しているのかわからない。	港南ひまわりプランに関して、特に中心となる窓口は「港南区役所福祉保健課」「港南区社会福祉協議会」となります。
80	<当事者の声を届ける機会をつくる>に関連して区内の施設を実際に訪ね、利用して、『当事者のまなざし』で検証する機会を設定していただきたい。当事者とは、高齢者、障害児・者、子ども・青少年・その保護者、外国人、主婦など各分野の生活者。施設とは、区内の地区センター、ケアプラザ、図書館、ひまわりの郷、公園、歩道、通学路、駅・バスターミナルなど公共的施設。検証するポイント、各立場の人が利用する時の使い勝手、安全性、居住性。そうすることにより、各アクションの基本となる生の情報を得ることができ、この情報を活かすことで各アクションを効果的に実施することができると思います。さらに、例えば地区センターの図書コーナーをより充実するなど、既にある施設の運営、改善に役立てることができると思います。また、発展的に【多世代交流のひろば・施設】を建設することにも繋がるのではないかと期待できます。	日々の相談支援や地域活動への参加などから得られる当事者からの声を大切にし、各アクションの取組を進めていきます。また、施設の運営や設備の改善などの意見については、関係部署と共有していきます。
81	個人的には、核家族が多い中でももう少し、異世代交流の機会が増えると良いのでは、と考えております。子供たちにはお年寄りの方を敬う心、大切に想う心を育んでもらいたいし、おばあちゃん、ひいおばあちゃん世代の皆さんからは、高価なおもちゃがなくても上手に遊ぶ方法、近所の方とどのように助け合ってきたのか、兄弟育てのこと、など、大変な子育てを上手に乗切る知恵を、教えていただきたいです。ワンオペ育児という言葉も生まれてしまうこの世の中で、家庭にひきこもり孤独感に苛まれながら育児をしていくお母さんが1人でも多く救われるよう、(ハンディキャップを持った方も、海外から港南区へ来てくださった方も、)もっと地域の方々がお互いに支え合える機会を増やしていきたい。というのが私の目標でもあり、今後の港南区の発展に期待するところです。	多世代の交流や多様性の理解啓発を進め、地域の中であらゆる人々がつながり、支えあえることを目指し、計画を推進していきます。

82	<p>重症心身障害児の母です。どんな風に意見を書いたらいいのかと考えましたが、難しいので、港南区への要望を書きたいと思います。</p> <p>○重症心身障害児・者の生活介護事業(通所)が港南区には1箇所です。それも、なかなか入れる状況ではなく、「地域での共生」をうたっているわりには、結局他の区の通所に頼るしかなく地域で過ごすことができていない現状です。区としても予算をとって具体的に動いてほしいです。</p> <p>○港南区でとられた写真を探しましたが、他の区のお祭りや公園散歩などはありましたが、港南区でのものはほとんどありませんでした。坂がおおくて徒歩でのイベント参加が難しかったり、車での参加を考えても駐車場(白わくなど)がなかったり、障がい者の優先の参加枠がなかったり…ふれあい公園のお祭りに頑張っていたら自転車が通れないようにするポールで車イスも入れず残念な思いをしました。重心に便利なことは高齢者やほかの障がい者にも優しいユニバーサルデザインかと思います。</p> <p>是非ご検討いただけたらと思います。最後までお読みいただきありがとうございました。</p>	<p>障がいによる暮らしの中での困りごとなど、当事者の方々の視点を大切にしながら計画を推進していきます。また、事業所の整備や環境面での困りごとに関する意見については、関係部署と共有していきます。</p>
※その他以下の意見も頂きました。必要に応じて関係部署とも共有していきます。		
83	<p>推進していくにあたり、ハード面(デイサービスの部屋の活用など)への制限が緩和されるといい。ケアプラザは地域の場なので、より活用できるといい。</p>	
84	<p>すべての地区で取り組むのは現実的ではない、出来る地区からになると思う。</p>	
85	<p>4つのアクションと12の取組ということで、記載されているが、地域課題が山積していることを踏まえると仕方ないとも思う。多少多いと思うが、一気に考えずひとつひとつ取り組んでいくと良い。</p>	
86	<p>芹が谷ケアプラザは山の上にあるため、年寄りには行きたくても行けない人が沢山います。ミニバスが廻ってくれたらとてもにぎやかな楽しい場所になると思います。ぜひ、よろしく願い致します。</p>	
87	<p>こんにちは。色々なプランを読ませていただきました。芹が谷ケアプラザを利用させていただいていますが、自宅から遠く毎回友人と連れだっていくのに、いつも小型のバスが廻ってくれたらいいねと話しています。どうかよろしく願い致します。コロナで、ケアの利用をお休みの期間がありましたが、考えてみると必要性を感じます。</p>	
88	<p>町会・自治会の役員の方、会長・副会長さんなどでも分からない時は地域・地区の地区センターが代行すること。</p>	
89	<p>(※原文のまま掲載)</p> <p>計画概要</p> <p>その1. ちょっとした気づかい心づかい</p> <p>その2. きごころの人見知りふれあい愛</p> <p>その3. 回り気回り心づかい信</p> <p>その4. 花ことば気づかい心理愛</p> <p>その5. 緑との小鳥や野守る</p>	
90	<p>取組が分かれています、分かりやすい。読みやすくなった。</p>	
91	<p>次の5年の目標にはひまわりプランを意識している。⑤つながりの場としては、コロナ前の7~8割戻ってきた。⑧健康づくりについては高齢者の支援はできている。この2つは継続していく。</p>	
92	<p>とても良くできた計画だと思う。見守り・支えあいが入っており、自分としても重点を置いてやっていきたい。</p>	
93	<p>ここに書いてあるのは、私たちの仕事そのもの。(福祉施設より)</p>	
94	<p>良かった事例を共有したい。</p>	
95	<p>コロナの給付金の手続きをきっかけに、認知症が分かった人もいる。</p>	

96	<ul style="list-style-type: none"> ・各家庭での草花の栽培や生物の写真・絵画の企画展開催などを通じて、自然環境保全の啓発を進める。 ・災害時に備え、災害ハザードマップの作成やあらゆる備蓄物資(レトルト食料・非常用の電源やトイレ・無線等)の確保など万全な体制を整える。 ・アルコール消毒液の噴霧などによりゴミ収集場の衛生対策を徹底する。 ・大岡川沿いに遊歩道を造成し、散策する区民に開放。散策を通じて制作される短歌・区などの作品を募り、優秀作品を表彰する。 ・バスケットボールや野球、サッカー、テニス、バドミントン、卓球などのスポーツの大会を開催する。
97	上大岡周辺に広い公園が少ない。
98	歩きタバコをしている人が前に歩いていると、煙が気になる(特に一本道)。
99	上大岡周辺は幼稚園が少ない。

「こななまちになったらいいなカード」について

令和2年度「こうなん子どもゆめワールド」に参加した子どもたちに、「こななまちになったらいいな」を募集しました。次のとおり、結果をご報告いたします。

1 配付方法

「こうなん子どもゆめワールド」参加者に入場券と共に送付。

2 回収方法

令和2年11月8日(日)開催「こうなん子どもゆめワールド」会場にて回収箱を設置して回収。

3 回収数

	回収数	配付数
ひまわりの郷 会場	195 枚	300 枚
地区センター 会場	56 枚	100 枚
合計	251 枚	400 枚

お願い

第4期港南ひまわりプラン
(地域をみんなでよりよくする計画)の
「こななまちになったらいいな」を募集しています。

こんなところがすき **こななまちになったらいいな** と思うことを、
この下の「こななまちになったらいいなカード」に書いて、
ゆめワールド当日に持ってきてください。

持ってきてくれた人には、
粗品プレゼント!

たとえば・・・

♥えがおがあふれるまち ♥あいさつをたくさんするまち ♥みんながともだちのまち。
色をぬったり、絵をかいたりしてもOKです!

こななまちになったらいいなカード

- ・体が不自由な人がおなじように暮らせる町
- ・自転車用の道が多いまち
- ・きまいた町(おくがまかたのぼろがまちをのぼろがまちなど)
- ・ギョギョシロシロの町
- ・町で子供を育てようという意識がある町

こななまちになったらいいなカード

みんなが楽しくてゆめ
のなまちは

こななまちになったらいいなカード

みんながきよくくるせむ町

住所:
氏名:

こななまちになったらいいなカード

生き物を大切にすむ町

こななまちになったらいいなカード

おもいやりにあふれるまち

お年寄りと小さい子供も助けあえる
ような町。

例として
映画「ボノボ」のようは老人ホームと
子供(幼稚園)の保育園が隣にあって、
子供はお年寄りの手伝いをし、お年寄りも
子供にいろいろお話を教えてあげることが
できる町。